鹿児島県埋蔵文化財調査報告書（70）

鹿児島サン・オーシャン・リゾート地域
埋蔵文化財調査報告書（Ⅲ）

川　辺　地　区

（枕崎市・加世田市・知覧町・川辺町・坊津町・大浦町・笠沙町）

日　置　地　区

（金峰町・吹上町）

平成６年度

１９９５年３月

鹿児島県教育委員会

序　　文

南北600kmに及ぶ本県は，日本三大砂丘のひとつである吹上砂丘，変化に富んだ坊・野間のリアス式海岸，開聞岳，池田湖などの火山地形，世界遺産条約に登録された洋上アルプスの屋久島，宇宙センター基地のある種子島をはじめとする個性豊かな島々と広大な海洋など，多彩で壮大な自然環境の中，独特の歴史・文化を生みだしています。

県ではこれらのすばらしい舞台を背景に，鹿児島県総合基本計画の柱として４市15町１村を特定地域及び重点整備地区に指定し，「鹿児島サン・オーシャン・リゾート構想」を推進しています。

県教育委員会では，これを受けて，埋蔵文化財の保護とリゾート開発の調整に必要な資料を得るため，平成４年度から３か年計画で同地域の埋蔵文化財の分布調査を実施してまいりました。

本年度は，最終年度の３か年目にあたり，調査は川辺地区（枕崎市・加世田市・坊津町・知覧町・川辺町・笠沙町・大浦町），日置地区（金峰町・吹上町）の２市７町について実施しました。

本書は，この分布調査の結果をとりまとめたものです。市町村教育委員会におかれましては，埋蔵文化財の保護のために活用されるとともにあわせて遺跡の整備・点検と遺跡の周知に努められるようお願いいたします。

本調査に御協力いただいた関係市町村教育委員会並びに関係各位に心から感謝の意を表します。

平成７年３月

鹿児島県教育委員会
教育長　有　馬　　学

例　　言

1　本書は，平成６年度に実施した「鹿児島サン・オーシャン・リゾート地域埋蔵文化財分布調査」の報告書である。

2　本年度の調査は最終年度の３か年目で川辺地区２市５町（枕崎市・加世田市・知覧町・川辺町・坊津町・大浦町・笠沙町）及び日置地区２町（金峰町・吹上町）の計２市７町を対象とした。

3　調査にあたっては，各市町村作製の２万５千分の１及び１万分の１の地形図を利用した。本報告書の付図には国土地理院の許可を得，同院発行の２万５千分の１の地形図を利用した。

4　本報告書の遺物写真撮影及び現地写真撮影は鶴田，遺物実測・トレース・レイアウトは青崎・鶴田が行った。

5　挿図の縮小倍率は次のとおりである。

土器……33.3%　　石器……66.6%

6　本書の執筆・編集は青崎・鶴田が行った。

報告書抄録

ふりがな	かごしま　ちいきまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	鹿児島サン・オーシャン・リゾート地域埋蔵文化財調査報告書（Ⅲ）
副書名	
巻次	
シリーズ名	鹿児島県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	Ⅲ
編著者名	青崎和憲　鵜田静彦
編集機関	鹿児島県教育委員会
所在地	〒892　鹿児島県鹿児島市山下町14番50号　℡　0992－26－8111
発行年月日	西暦、1995年　3月　31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
迫前遺跡 他9	枕崎市	462047		31°14′30″ ～ 31°20′10″	130°14′40″ ～ 130°22′30″	H 6.10.17 ～ 10.19		分布調査
近道遺跡 他3	川辺郡坊津町	463434		31°15′ ～ 31°22′	130°10′ ～ 130°16′	H 6.10.21		〃
永手後西遺跡 他26	川辺郡知覧町	463442		31°14′30″ ～ 31°25′	130°22′ ～ 130°30′30″	H 6.10.25 ～ 10.28		〃
山神迫遺跡 他12	川辺郡川辺町	463451		31°18′ ～ 31°28′30″	130°19′40″ ～ 130°29′	H 6.10.31 11. 1 ～11. 2		〃
小森東遺跡 他2	加世田市	462110		31°18′ ～ 31°26′	130°14′ ～ 130°22′	H 6.11. 7 ～ 11. 9		〃
瀬戸上遺跡 他9	川辺郡大浦町	463426		31°19′20″ ～ 31°24′30″	130°12′ ～ 130°16′	H 6.10.20 11.20		〃
福戸山鼻遺跡 他1	川辺郡笠沙町	463418		31°21′ ～ 31°26′	130°06′ ～ 130°13′	H 6.11.25		〃
砂渓遺跡 他2	日置郡金峰町	463680		31°24′ ～ 31°29′	130°17′ ～ 130°27′	H 6.11.10 ～ 11.15		〃
小牟田平遺跡 他8	日置郡吹上町	463671		31°29′ ～ 31°35′	130°18′ ～ 130°27′	H 6.11.16 ～ 11.22		〃

所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺跡	特記事項

目　　次

序　文
例　言
報告書抄録
第Ⅰ章　調査の経過…… 1
　第1節　調査に至るまでの経過…… 1
　第2節　調査の組織…… 1
　第3節　調査の経過…… 2
第Ⅱ章　調査報告…… 3
　第1節　杭崎市の調査…… 3
　第2節　坊津町の調査…… 9
　第3節　知覧町の調査……13
　第4節　川辺町の調査……27
　第5節　加世田市の調査……35
　第6節　金峰町の調査……37
　第7節　吹上町の調査……41
　第8節　大浦町の調査……47
　第9節　笠沙町の調査……53

挿図目次

第1図　杭崎市内の遺跡（迫前遺跡）…… 4
第2図　〃　（丸尾谷二遺跡）… 4
第3図　〃　（一本松之下遺跡他）… 5
第4図　〃　（新堀遺跡）…… 5
第5図　〃　（鍋屋敷遺跡）… 6
第6図　〃　（折戸山遺跡）… 6
第7図　坊津町の遺跡（近道遺跡）…… 9
第8図　〃　（鳥越遺跡）……10
第9図　〃　（尾ノ上遺跡）……10
第10図　〃　（田崎遺跡）……11
第11図　知覧町の遺跡（永手後西遺跡他）…15
第12図　〃　（北尾平遺跡他）…16
第13図　〃　（丸尾遺跡他）……16
第14図　〃　（古園遺跡他）……17
第15図　〃　（金蔵堀遺跡）……18
第16図　〃　（中登い遺跡）……19
第17図　〃　（横井遺跡他）……19
第18図　〃　（須田ノ木遺跡他）…20
第19図　〃　（一番山遺跡）……21
第20図　川辺町の遺跡（山神迫遺跡他）…28
第21図　〃　（市崎原遺跡）……29
第22図　川辺町の遺跡（横堀遺跡他）……29
第23図　〃　（中之平遺跡）……30
第24図　〃　（石川路平遺跡他）31
第25図　〃　（仮集遺跡）……31
第26図　加世田市の遺跡（小森東遺跡他）…35
第27図　〃　（荒田堀遺跡）…36
第28図　金峰町の遺跡（砂漠遺跡）……37
第29図　〃　（上ノ山後遺跡）…38
第30図　〃　（浜潟遺跡）……39
第31図　吹上町の遺跡（堀内遺跡）……42
第32図　〃　（枦ケ峰遺跡他）…43
第33図　〃　（山迫遺跡）……44
第34図　〃　（小鳥堀遺跡）……44
第35図　大浦町の遺跡（瀬戸上遺跡他）…48
第36図　〃　（星太郎上後遺跡）48
第37図　〃　（ソガノ遺跡他）…49
第38図　〃　（野下園遺跡他）…49
第39図　〃　（外園東遺跡）……50
第40図　笠沙町の遺跡（福戸山鼻遺跡）…53
第41図　〃　（枦木畠遺跡）……54
第42図　出土遺物実測図……55

表　目　次

第１表　調査の経過…… 2
第２表　枕崎市内の遺跡地名表…… 3
第３表　坊津町内の遺跡地名表…… 9
第４表　知覧町内の遺跡地名表……13
第５表　川辺町内の遺跡地名表……27
第６表　加世田市内の遺跡地名表……35
第７表　金峰町内の遺跡地名表……37
第８表　吹上町内の遺跡地名表……41
第９表　大浦町内の遺跡地名表……47
第10表　笠沙町内の遺跡地名表……53

図版目次

図版１　枕崎市内の遺跡…… 7
図版２　坊津町内の遺跡……11
図版３　知覧町内の遺跡……21
図版４　川辺町内の遺跡……32
図版５　加世田市内の遺跡……36
図版６　金峰町内の遺跡……39
図版７　吹上町内の遺跡……45
図版８　大浦町内の遺跡……50
図版９　笠沙町内の遺跡……54

付　　図

付図１　枕崎市・坊津町遺跡分布図
付図２　知覧町遺跡分布図
付図３　大浦町・笠沙町遺跡分布図
付図４　吹上町・金峰町遺跡分布図
付図５　加世田市遺跡分布図
付図６　川辺町遺跡分布図

第Ⅰ章　調査の経過

第1節　調査に至るまでの経過

鹿児島県教育委員会は，鹿児島サン・オーシャン・リゾート計画の進展に合わせて4市15町1村（指宿市・喜入町・山川町・頴娃町・開聞町・三島村・西之表市・中種子町・南種子町・上屋久町・屋久町・枕崎市・加世田市・大浦町・笠沙町・坊津町・知覧町・川辺町・吹上町・金峰町）について埋蔵文化財分布調査を平成4年度から6年度までの3か年の予定で計画した。

これは，埋蔵文化財の保護とサン・オーシャン・リゾート開発との調整の基礎資料を得ることを目的としたものである。

調査にあたっては，文化庁全国遺跡分布調査要項（昭和46年4月）に準拠し，埋蔵文化財を中心に原則として田畑一筆ごとの悉皆調査を行い，必要に応じてボーリング調査をするなど精密な分布調査を実施することとした。また，その結果について分布図・報告書を作成し関係機関に配布する。

平成6年度は，枕崎市・加世田市・大浦町・笠沙町・坊津町・知覧町・川辺町・吹上町・金峰町の2市7町の特定地域及び重点整備地区を対象にして埋蔵文化財分布調査を実施した。調査期間は平成6年10月17日から11月25日までを要した。

第2節　調査の組織

調査主体者	鹿児島県教育委員会	教育長	有馬　学
調査責任者	鹿児島県教育庁文化課	課長	立園　多賀生
調査企画担当者	鹿児島県教育庁文化課	課長補佐	今別府　修一
〃	〃	主任文化財主事 兼埋蔵文化財係長	戸崎　勝洋
調査担当者	〃	文化財主事	青崎　和憲 （平成6年10月17日～11月17日）
〃	鹿児島県立埋蔵文化財センター	文化財主事	倉元　良文 （平成6年11月21日～11月25日）
〃	〃	文化財研究員	鵜田　静彦 （平成6年10月17日～11月25日）
調査事務担当	鹿児島県教育庁文化課	主幹兼企画文化係長	平野　誠一
〃	〃	主査	末吉　博志

調査にあたっては，枕崎市教育委員会（文化課上村香課長，前村真次主事補），加世田市教育委員会（社会教育課伊地知治喜文化係長，上東克彦主事），大浦町教育委員会（長崎節雄主事），笠沙町教育委員会（社会教育課折田裕仁課長），坊津町教育委員会（文化課竹山健一課長，竹原和人主事），知覧町教育委員会（文化財課取違薩美課長，上田耕主査），川辺町教育委員会（社会教育課井上恵課長，上村純一主事），吹上町教育委員会（社会教育課横山宏志課長），金峰町教育委員会（社

会教育課鮫島範正課長，宮下貴浩主事）の協力を得た。

第3節　調査の経過

今年度の調査は，鹿児島サン・オーシャン・リゾート構想の特定地域及び重点整備地区4市15町1村における最終年度の3か年目にあたり，枕崎市・坊津町・知覧町・川辺町・加世田市・金峰町・吹上町・大浦町・笠沙町の2市7町を平成6年10月17日から11月25日にかけて実施した。調査日程及び調査については下表によって概略説明する。

第1表　調査の経過

市町名	月日	調査地区名等	同行者	備考
枕崎市	10月17日	白沢・俵積田・板敷	市教委前村　企画財政課上園	
	18日	板敷・春日・塩屋・火の神他	市教委前村	
	19日	立神　遺跡写真撮影	市教委前村	
大浦町	20日	大浦町東部笠沙高校周辺	な　し	
坊津町	21日	坊・泊・栗野・田崎	町教委竹山課長・竹原	
知覧町	25日	松ケ浦・竹迫・塩屋・厚地	町教委上田	
	26日	厚地・郡・手蓑	町教委上田	
	27日	郡（武家屋敷周辺）	町教委上田	
	28日	郡　遺跡写真撮影	町教委上田	
川辺町	10月31日	鳴野原・市野崎・神殿・軸屋他	町教委上村	
	11月1日	小崎・仁之野下・楠原・木場田	町教委上村	
	2日	遺跡写真撮影	町教委上村	
大浦町	4日	大浦町中央部台地柳	な　し	
加世田市	7日	小湊（砂丘地帯）・相星	市教委伊地知係長・上東	
	8日	唐仁原　高橋	市教委上東	
	9日	益山・万世　遺跡写真撮影	市教委上東	
金峰町	10日	高橋（少年自然の家周辺）	町教委宮下	
	11日	池辺・堀川	町教委宮下	
	14日	高橋	町教委宮下	
	15日	竹山　遺跡写真撮影	町教委宮下	
吹上町	16日	入来	な　し	
	17日	今田・花塾里	な　し	
	18日	中原　遺跡写真撮影	な　し	
	21日	入来浜・小野　遺跡写真撮影	な　し	
吹上・大浦	22日	午前吹上町遺跡写真撮影・午後大浦町秋目	な　し	
大浦町	24日	西部の台地を中心に	町教委長崎	
笠沙町	25日	大浦町・笠沙町　遺跡写真撮影	市教委折田課長	

第Ⅱ章　調　査　報　告

第1節　枕崎市

枕崎市は薩摩半島南端に位置し，東は知覧町，西は坊津町，北は加世田市に接し南は東シナ海に開けている。なお，溶結凝灰岩台地や市東部の別府台地はコラ層に覆われた起伏に富んだ地形から成り，さらにリアス式海岸の東西16°㎞に及ぶ海岸線，加世田市磯間山を源とする花渡川が市を南北に縦断し枕崎湾外に注ぎ，その支流に中州川の２川の流域に水田が開けている。

これまで49カ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって10の遺跡が新たに追加された。

第２表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	迫前	別府迫前	南面するゆるやかな傾斜面	縄文	縄文式土器 砥石	３－50
2	丸尾谷二	別府丸尾谷二	〃	中世	青磁	３－51
3	一本松之下	別府一本松之下	〃	縄文	黒曜石	３－52
4	瀬戸ノ崎	別府瀬戸ノ崎	〃	古代 or 中世	土師器	３－53
5	下之原	別府下之原	〃	江戸	染付	３－54
6	山之尻	別府山之尻	〃	古墳	土器片	３－55
7	新堀	別府新堀	ゆるやかな傾斜面	江戸	染付	３－56
8	鍋屋敷	西鹿籠鍋屋敷	台地	古代	土師器	３－57
9	折戸山	西鹿籠折戸山	〃	古墳	成川式土器	３－58
10	原村	西鹿籠原村	〃	古墳	成川式土器	３－59

１　迫前（さこまえ）遺跡（第１図・第42図・図版１－１・２）

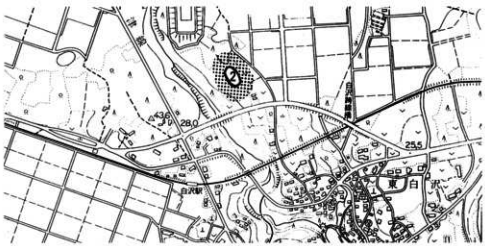
枕崎市の東部，頴娃町境，東白沢集落の南側にあたり，海へ突き出た標高約６ｍの台地の畑地に位置する。西側は白沢漁港の湾が形成され，南の台地先端部は急崖となる。また，遺跡の東側は戦後枕崎産出の鉄鉱石の積み出し港の跡がある。

土師器，染付の小片，砥石の残片が採集された。

２　丸尾谷二（まるおだにのに）遺跡（第２図・図版１－１・２）

枕崎空港と国道226号線に挟まれた南に延びた緩やかな傾斜面の畑地に位置する。標高約30ｍである。黒曜石製の石鏃と青磁片を採集した。石鏃は長さ1.5㎝の小型で先端部は欠損し，両側面は細かい鋸歯状を呈している。（石鏃はエリア外で採集）

第1図　迫前遺跡



第2図　丸尾谷二遺跡

3　一本松之下（いっぽんまつのした）遺跡（第3図・図版1－1・2）

国道226号から指宿枕崎線を跨ぎ南の海岸線へ延びる緩やかな傾斜面の畑地に所在する。東，西の台地縁辺は小河川が南流し小谷が形成され，標高約20mの台地となる。東側の台地には，枕崎漁協総合加工場が位置する。成川式土器片と黒曜石製の剥片が採集された。

4　瀬戸ノ崎（せとのさき）遺跡（第3図・図版1－1）

鹿児島水産高校の運動場の北東部にあたり東に緩やかに傾斜した畑地に位置する。縄文土器片，土師器片が採集された。遺跡の範囲は狭い。周辺は段々畑や樹木の植栽をみる。

5　下之原（しものはら）遺跡（第3図・第42図・図版1－1）

さつま板敷駅を下り，鹿児島水産高校正門前の南に緩やかに傾斜した段々畑地に位置する。遺跡は広範囲に広がるものと思われる。土師器や染付けの磁器片が採集された。標高約20mである。

6　山之尻（やまのしり）遺跡（第3図・図版1－1・2）

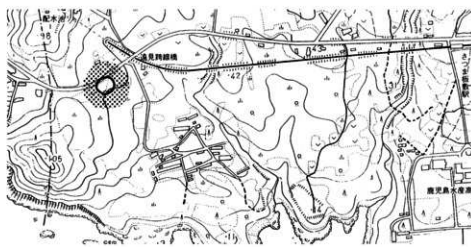
さつま板敷駅の北側，国道226号に隣接した一段高い民家の裏が遺跡地である。縄文土器片が採集された。標高約40mの段々畑となる。

瀬戸ノ崎遺跡，下ノ原遺跡は南側の海岸に向かって延びた緩やかな傾斜面の段々畑に立地する。なお，東・西側の縁辺部は小河川によって小谷が形成され，谷によって挟まれた広い独立した台地となる。

第3図　3－一本松之下遺跡　4－瀬戸ノ崎遺跡　5－下之原遺跡　6－山之尻遺跡

7　新堀（しんぼり）遺跡（第4図・図版1－1・2）

遠見跨線橋を枕崎市街地方向に渡った国道226号線沿いの北側（配水池）・南側の小高い山に囲まれた谷間の南東に傾斜した狭い畑地に位置する。染付けの磁器片を採集した。



第4図　新堀遺跡

8　鍋屋敷（なべやしき）遺跡（第5図・図版1－1・2）

坊津町との境，火ノ神公園から西にあたる内鍋清掃センター寄りの狭い畑地に位置する。遺跡の南側背後には標高約134mの山が迫り，北側は畑地帯となる。土師器や白磁片が採集された。

第5図　鍋屋敷遺跡

9　折戸山（おりとやま）遺跡（第6図・図版1－1・2）

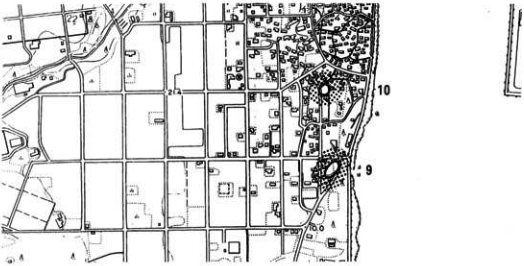
枕崎港の西，南の海に突き出た火ノ神公園入り口の塩屋集落内にあたり，東側海岸寄りの民家の屋敷畑に位置する。当地の地表面は砂に覆われた平地（砂丘地）で，標高約10mである。

縄文土器片・染付け碗が採集された。

10　原村（はらむら）遺跡（第6図・図版1－2）

折戸山遺跡の北側約250mの屋敷畑に位置する。成川式土器片・土師器片が採集された。

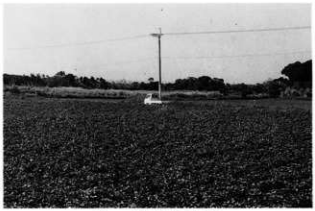
なお，折戸山遺跡・原村遺跡が位置する塩屋集落の西側は区画整理済みで整然と道路網が廻らされていた。



第6図　9－折戸山遺跡　10－原村遺跡

図版１－１

1　迫前遺跡



3　一本松之下遺跡

4　瀬戸ノ崎遺跡

5　下之原遺跡

6　山之尻遺跡

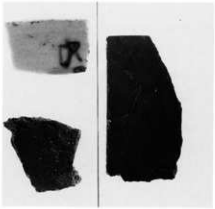
7　新堀遺跡

8　鍋屋敷遺跡

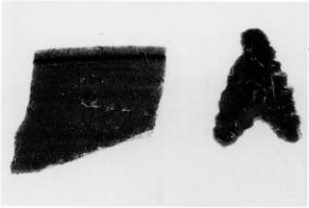
9　折戸山遺跡

図版１－２

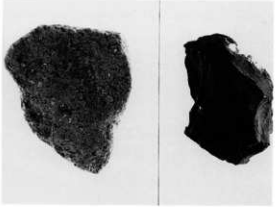
10　原村遺跡



1　迫前遺跡出土遺物

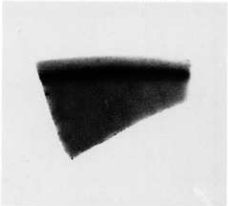


2　丸尾谷二遺跡出土遺物

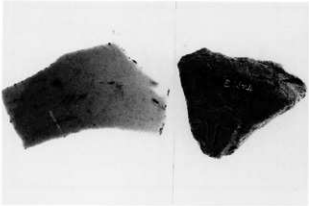


3　一本松之下遺跡出土遺物

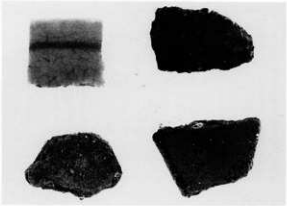
6　山之尻遺跡出土遺物



7　新堀遺跡出土遺物



8　鍋屋敷遺跡出土遺物



9　折戸山遺跡出土遺物

第2節　坊津町

坊津町は，薩摩半島南西端に位置し，西及び南は東シナ海を臨み，東は枕崎市，北は加世田市，大浦町に接す。平地はわずかに海岸沿いに開けているのみで，大半が山地である。なお南西部は中生層山地の沈降によるリアス式海岸線が延べ52kmに及び，坊，泊，久志，秋目の良港を有す。特に坊津港は遣唐使の発着港として知られ，日本三津の一つであった。また一乗院竜厳寺の僧坊があり宗教文化の拠点，古代から平安～江戸にかけて中国・琉球・南方との交易や藩の主要港として栄えたところである。

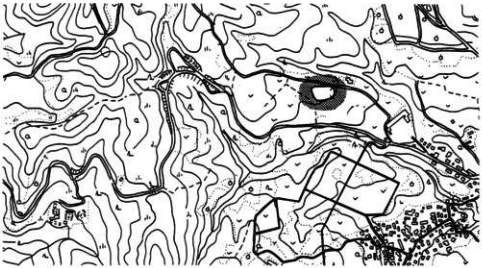
これまで，33の遺跡が知られていたが，今回の調査によって4の遺跡が新たに追加された。

第3表　坊津町遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	近道	坊近道	ゆるやかな傾斜面	古墳	成川式土器	25－34
2	鳥越	坊鳥越	〃	縄文・中世	石鏃・青磁	25－35
3	尾ノ上	泊尾ノ上	〃	古墳	成川式土器	25－36
4	田崎	久志	台地	古墳・中世	成川式土器・青磁・染付・土錘	25－37

1　近道（ちかみち）遺跡（第7図・図版2－1・2）

枕崎市との境，栗野小学校の北西約200mの山間部の畑地に位置する。当地は北からの標高260mの番屋山から延びた丘陵が迫りわずかに開けた段々畑が連なった東に傾斜地にあたる。遺跡の範囲は狭く，縄文土器片が採集された。



第7図　近道遺跡

2　鳥越（とりごえ）遺跡（第８図・第42図・図版２－１・２）

一乗院跡の坊泊小学校が所在する鳥越集落の北側，NTT 坊電話交換局の建物に隣接する。北側・南側から山が迫り小丘陵に畑地が開墾されている。面積は小範囲にとどまる。標高は約37mである。砂岩製の石鏃・土師器片，青磁片が採集された。

第８図　鳥越遺跡

3　尾ノ上（おのうえ）遺跡（第９図・図版２－１・２）

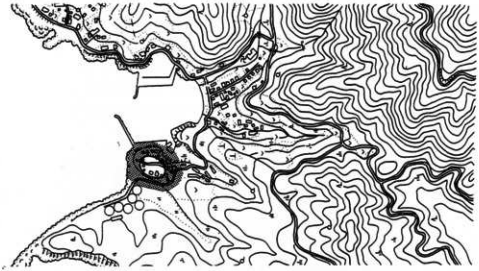
泊集落から高太郎公園に向かう海岸寄りの急斜地の狭い畑地に位置する。標高約20mである。縄文土器片が採集された。

第９図　尾ノ上遺跡

4　田崎（たざき）遺跡（第10図・第42図・図版２－１・２）

博多浦港の西側入り口にわずかに突き出た半島状の高台に位置する。標高約15mである。狭い居

住区の数戸からなる田崎集落にあり，小規模の狭い屋敷畑に土師器片や青磁，染付け，小型の土錘2個を採集した。基盤である凝灰岩が部分的に露呈し遺物包含層は削平されていると思われる。



第10図　田崎遺跡

図版２－１

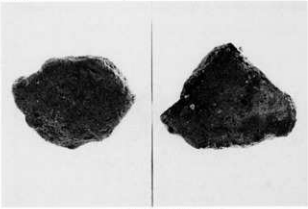
1　近道遺跡

2　鳥越遺跡

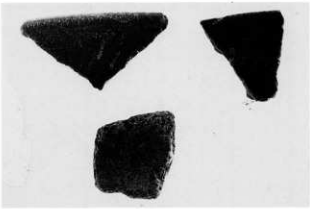
3　尾ノ上遺跡

4　田崎遺跡

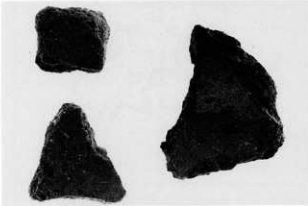
図版２－２



1　近道遺跡出土遺物



2　鳥越遺跡出土遺物



3　尾ノ上遺跡出土遺物

4　田崎遺跡出土遺物

第3節　知 覧 町

知覧町は，薩摩半島の南部，川辺郡の東部に位置する。北部は鹿児島市，東部は喜入町，頴娃町，西部は川辺町，枕崎市に接する。北東部は白岳，中岳，志那志岳，母ケ岳などの山々に囲まれた山岳地帯でその合間に茶畑の小盆地が広がり，中部は籠川，永里川流域に水田地帯や市街地が開けている。南部は東シナ海へと続く緩やかな傾斜の台地が広がっている。全耕地面積の87％を畑地が占めている。市街地周辺には，伝統的建造物群の武家屋敷群，鎌倉期の国指定史跡知覧城跡，大戦末期の陸軍特攻基地跡が所在する。

知覧町市街地を中心にした内陸部及び北部と南部の海岸部を調査対象とした。

これまで，131の遺跡が周知されていたが，今回の調査で新たに27の遺跡が追加された。

第4表　遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	永手後西	塩屋永手後西	南面するゆるやかな傾斜地	中世	染付	26－132
2	永手後東	塩屋永手後東	〃	中世・古墳	成川式土器 染付	26－133
3	柏畑	塩屋柏畑	〃	中世	染付	26－134
4	馬庭	塩屋馬庭	〃	中世・古墳	青磁・染付 成川式土器	26－135
5	狸迫	塩屋狸迫	〃	中世・古墳	成川式土器 染付	26－136
6	若宮	塩屋若宮	〃	中世・江戸	染付・青磁	26－137
7	奥山	南別府奥山	〃	中世	染付・土師器	26－138
8	北尾平	厚地北尾平	傾斜面 みかん畑	縄文	黒曜石 成川式土器	26－139
9	獄狩	厚地獄狩	山すそ	古墳	成川式土器	26－140
10	丸野A	厚地丸野	〃	縄文・古墳	縄文土器 成川式土器	26－141
11	丸野B	厚地丸野	〃	古墳	成川式土器	26－142
12	古園	厚地古園	〃	古墳	成川式土器	26－143
13	福永之前	厚地福永之前	微高地	縄文・古墳	黒曜石 成川式土器	26－144

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
14	大丸	厚地大丸	山すそ	縄文・中世	縄文式土器 染付	26－145
15	山下	厚地山下	〃	縄文 古墳～中世	縄文式土器・成川式土器・土師器・青磁・染付	26－146
16	御薗	厚地御薗	〃	中世	成川式土器 青磁	26－147
17	御薗	厚地御薗	〃	中世	成川式土器 青磁	26－148
18	金蔵堀	厚地金蔵堀	台地			26－149
19	中登い	郡中登り	〃	古墳	成川式土器	26－150
20	横井	郡横井	〃	縄文	塞ノ神式土器剥片	26－151
21	小原	小原	〃	古墳	成川式土器	26－152
22	須田ノ木	郡須田ノ木	河岸段丘	縄文・古代 中世	縄文式土器 須恵器・青磁	26－153
23	白川	郡白川	〃	古墳	成川式土器	26－154
24	白川	郡白川	〃	古墳・中世	青磁 成川式土器	26－155
25	厚村	郡厚村	〃	古墳	成川式土器	26－156
26	厚村	郡厚村	〃		土器片	26－157
27	一番山	郡一番山	〃	縄文	土器片	26－158

後述する永手後西遺跡，永手後東遺跡，柏畑遺跡，馬庭遺跡，狸迫遺跡，若宮遺跡，奥山遺跡は東シナ海へ緩やかに続く傾斜面の南薩台地先端部（標高約14m～18m）にあたり，薩摩塩屋駅，国道226号の南側の西塩屋，東塩屋集落付近に所在する。台地先端部は急峻な海岸線となる。標高は約13～20mである。

1　永手後西（ながてうしとにし）遺跡（第11図・図版３－１）

西塩屋集落を外れた西側，本坊酒造知覧工場の東側にあたり，海岸へ続く道路西の一段高い狭い畑地に位置する。西側には永沢川が南流する。

染付け１点が採集された。

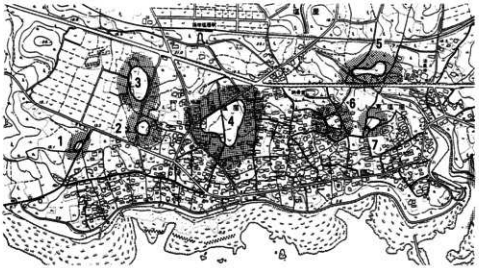
2　永手後東（ながてうしとひがし）遺跡（第11図・図版３－１・４）

永手後西遺跡の東側にあたり民家の屋敷畑である。

古墳時代の土器片が採集された。

3　柏畑（かしわばた）遺跡（第11図・図版３－１）

永手後東遺跡の北側に位置する。白磁や染付け碗が採集された。



第11図　1－永手後西遺跡　2－永手後東遺跡　3－柏畑遺跡　4－馬庭遺跡
5－狸迫遺跡　6－若宮遺跡　7－奥山遺跡

4　馬庭（まにわ）遺跡（第11図・第42図・図版３－１・４）
西塩屋集落内の開けた段々畑に位置する。遺跡は比較的広範囲に広がると思われる。
16世紀相当の白磁をはじめ，染付け，成川式土器片が多数採集された。

5　狸迫（たぬきざこ）遺跡（第11図・図版３－２）
国道226号と JR 指宿枕崎線に挟まれた小台地の縁辺部にあたり，台地南には小河川が流れる。
成川式土器や染付け碗を採集した。

6　若宮（わかみや）遺跡（第11図・第42図・図版３－２・４）
東塩屋集落の若宮神社境内裏側にあたる畑地に位置する。
染付けの磁器を採集した。江戸期相当の遺物と思われる。

7　奥山（おくやま）遺跡（第11図・第42図・図版３－２・４）
若宮遺跡の東側，民家裏の屋敷畑に位置する。
染付けの磁器を採集した。江戸期相当の遺物と思われる。

北尾平遺跡，獄狩遺跡，丸野A遺跡，丸野B遺跡，古園遺跡，福永之前遺跡，大丸遺跡，山下遺跡，御園遺跡，金蔵堀遺跡は，北東は鹿児島市との境の標高約521mの烏帽子岳をはじめ，北側の川辺町との境，標高約213～399mの山々，南東の標高約517mの母ケ岳に囲まれた小盆地のわずかに開けた山裾の南に面した畑地に位置する。盆地中央には厚地川が南流し，沖積地や河岸段丘が形成され水田地帯となる。

8　北尾平（きたおでら）遺跡（第12図・図版３－２・５）
松山集落の最も奥まった急斜面を開墾した南向きの蜜柑畑に位置する。この一帯は段々畑が連な

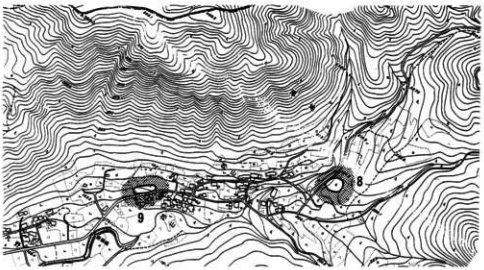
り蜜柑園となっている。標高は約204mである。

縄文土器片や黒曜石剥片を採集した。

9　獣狩（たけがり）遺跡（第12図・図版３－２・５）

周知の遺跡であるイゼンハラ遺跡の南西向きの山裾部にあたる。

土器片が採集された。

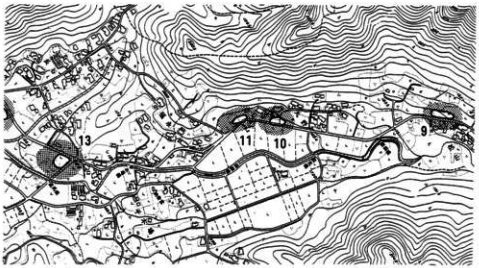


第12図　8－北尾平遺跡　9－獣狩遺跡

10　丸野（まるの）A遺跡（第13図・第42図・図版３－２・５）

丸野集落の南に面した道路沿いの屋敷畑に位置する。標高約170mである。

早期の縄文土器や土師器等が採集された。遺跡の背後は山が迫っている。



第13図　9－獣狩遺跡　10－丸野Ａ遺跡　11－丸野Ｂ遺跡　13－福永之前遺跡

11　丸野（まるの)B遺跡（第13図・図版３－２・５）

丸野A遺跡の南側にあたり，段々畑の小規模畑から成川式土器片が採集された。

丸野A遺跡・丸野B遺跡はともに，山裾部にあたる。

12　古園（ふるぞの）遺跡（第14図・第42図・図版３）

長谷集落の入り口の屋敷畑に位置する。標高約158mである。

縄文土器，成川式土器片が採集された。

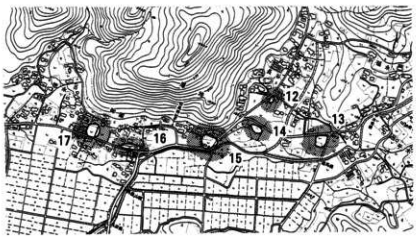
13　福永之前（ふくながの）遺跡（第14図・図版３－２・５）

厚地川によって形成された沖積地の連馬橋北東の畑地に位置する。標高は約157mである。

黒曜石製の２次加工を施した剥片石器，成川式土器，青磁が採集された。

14　大丸遺跡（うまい）遺跡（第14図・図版３－３）

古園遺跡の南側，長谷集落と福永集落へ通じる三叉路付近の道路沿いに位置する。現況は茶畑である。成川式土器，染付けの碗片が採集された。



第14図　12－古園遺跡　13－福永之前遺跡　14－大丸遺跡
15－山下遺跡　16－御園Ａ遺跡　17－御園Ｂ遺跡

15　山下（やました）遺跡（第14図・第42図・図版３－３・５）

松尾神社東側及び山下橋の北側にあたり，厚地川右岸，河岸段丘状の屋敷畑に位置する。

成川式土器や14世紀相当の青磁碗，江戸期の完形の碗１個が採集された。

16　御園（みそん)A遺跡（第14図・第42図・図版３－３・５）

同行者の町教委上田主事から『井原政純氏（国士館大－中世史）によると，御園一帯は中世の在地集落遺構が残されている地区である』との教示があった。

御園集落は，北側後背は急峻な山が迫り，南側は厚地川によって形成された沖積地に水田が開ける。小規模集落ではあるが南に面した山裾及び山裾から延びる小丘陵地に松尾神社を中心に構成さ

れている。

知覧農協御園支所前の県道沿いの屋敷畑に位置する。標高約150mである。黒曜石製の剥片石器，竜泉窯系14世紀相当の青磁碗，染付けが採集された。

17　御園（みそん）B遺跡（第14図・図版３）

御園A遺跡の西側約200mの場所にあたり，青磁片が採集された。なお，地形的，位置的関係から御園A遺跡に包括されるか。

18　金蔵堀（きんぞうぼい）遺跡（第15図・図版３－３）

知覧小学校北側，郡高台配水地のある台地北側に位置する。標高約176mの桑畑である。なお，台地南側縁辺部には周知の桂仙山遺跡がある。

成川式土器片が採集された。

第15図　金蔵堀遺跡

19　中登い（なかのぼい）遺跡（第16図・図版３－３・５）

ミュージアム知覧や平和公園，名産の茶畑が広がる，知覧町で最も広く平坦な台地の北側台地縁辺部に位置する。標高約156mである。

縄文土器，成川式土器，土師器等が採集された。

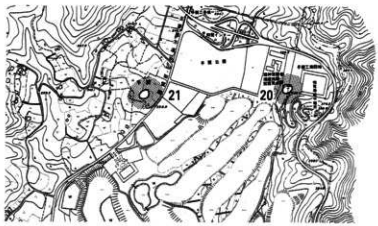
20　横井（よこい）遺跡（第17図・第42図・図版３－３・６）

知覧町北部の鹿児島市との境，指宿スカイライン知覧インター近くの知覧無線中継所に隣接する高圧線鉄塔脚部付近に位置する。遺跡は小範囲に留まり北側に向けて傾斜面となる。崖面に縄文早期の塞ノ神式土器やケツ岩製の剥片がアカホヤ層下の黒色層の中から採集された。遺跡の主体部は後背地に延びる可能性があるが荒地の為不明である。標高は約366mである。

第16図　中登い遺跡

21　小原（おばる）遺跡（第17図・図版３－３・６）

指宿スカイライン知覧インター南，県道谷山～知覧線沿いの山裾が延びた緩やかな台地に位置する。土師器が採集された。現況は茶畑である。標高約337mである。



第17図　20－横井遺跡　21－小原遺跡

須田ノ木遺跡，白川A遺跡，白川B遺跡，厚村A遺跡，厚村B遺跡は盆地からなる知覧町市街地北側の中郡南集落にあり，また，東側に国史跡重要伝統的建物保存地区である武家屋敷群がある。これら遺跡は市街地を流れる麓川によって形成された比較的狭い沖積台地の屋敷畑に位置する。標高は約129m前後である。なお，今後綿密かつ詳細な分布のもとに確実なデータで大規模な遺跡として位置付ける必要がある。

22　須田ノ木（すだのき）遺跡（第18図・第42図・図版３－３・６）

隆南工業高校裏から法務局に通じる道路沿いの屋敷畑に位置する。

成川式土器，須恵器，青磁が採集された。

23　白川（したこ）A遺跡（第18図・第42図・図版３－４・６）

民家の屋敷畑である。

成川式土器，13世紀前半の同安窯系青磁が採集された。

24　白川（したこ）B遺跡（第18図・図版３－４・６）

道路を挟んで比較的広範囲に遺跡が確認された。

成川式土器，土師器，青磁が採集された。

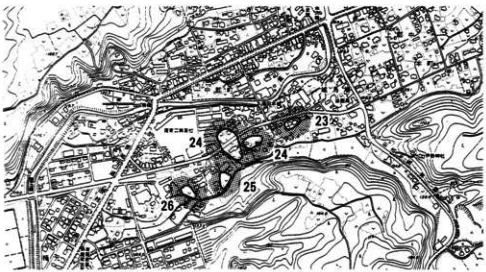
25　厚村（あつむら)A遺跡（第18図・図版３－４・６）

薩南工業高校の南側にあたる屋敷畑が遺跡である。なお，遺跡地の南側には溝川が流れ溝川によって浸食された小台地が形成されている。

26　厚村（あつむら)B遺跡（第18図・図版３－４・６）

厚村A遺跡の西側約200mの地点にあたる。

青磁底部が採集された。

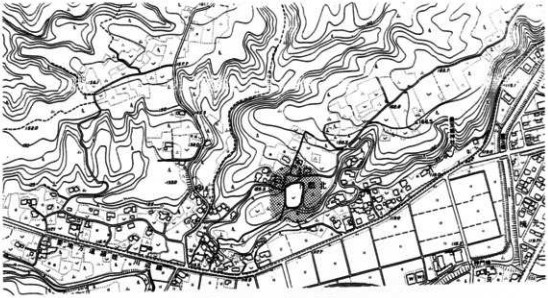


第18図　22－須田ノ木遺跡　23－白川Ａ遺跡　24－白川Ｂ遺跡　25－厚村Ａ遺跡　26－厚村Ｂ遺跡

27　一番山（いちばんやま）遺跡（第19図・図版３－６）

豊玉姫神社裏の台地から南西に延びる傾斜面に小丘陵が枝状に形成された畑地に位置する。

標高約130mである。土器片が採集されたが小片の為，時期等は不明である。



第19図　一番山遺跡

図版３－１

1　永手後西遺跡

2　永手後東遺跡

3　柏畑遺跡

4　馬庭遺跡

図版 3 － 2

5　猟迫遺跡

6　若宮遺跡

7　圃山遺跡

8　北尾平遺跡

9　獄狩遺跡

10　丸野Ａ遺跡

11　丸野Ｂ遺跡

13　福永之前遺跡

図版 3 － 3

14　大丸遺跡

15　山下遺跡

16　御薗遺跡

18　金蔵堀遺跡

19　中登い遺跡

20　横井遺跡

21　小原遺跡

22　須田ノ木遺跡

図版 3 － 4

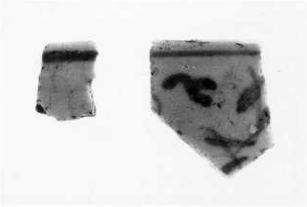
23　白川遺跡

24　白川遺跡

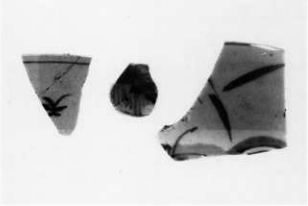
25　厚村遺跡

26　厚村遺跡

2　永手後東遺跡出土遺物



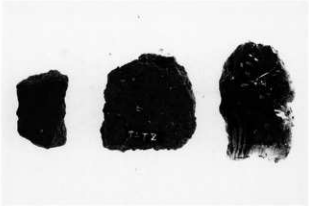
4　馬庭遺跡出土遺物



6　若宮遺跡出土遺物

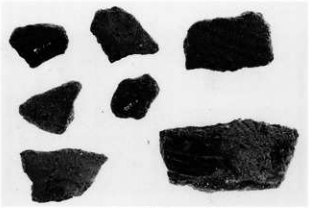
7　奥山遺跡出土遺物

図版３－５

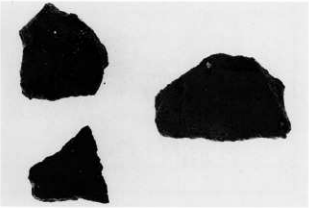


8　北尾平遺跡出土遺物

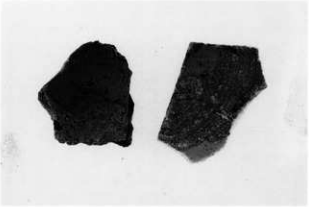
9　獄狩遺跡出土遺物



10　丸野Ａ遺跡出土遺物

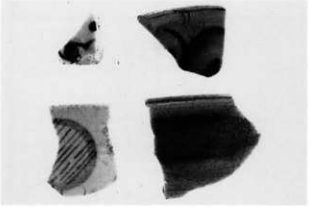


11　丸野Ｂ遺跡・12　古園遺跡出土遺物

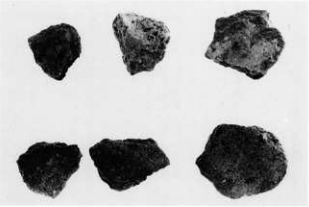


13　福永之前遺跡出土遺物

15　山下遺跡出土遺物



16　御園遺跡出土遺物



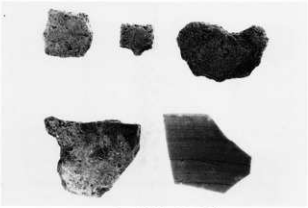
19　中登り遺跡出土遺物

図版 3 － 6

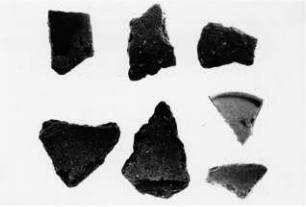
20　横井遺跡出土遺物

21　小原遺跡出土遺物

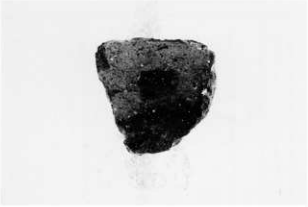
22　須田ノ木遺跡出土遺物



23　白川遺跡出土遺物



24　白川遺跡出土遺物



25　厚村遺跡出土遺物

26　厚村遺跡出土遺物

27　一番山遺跡出土遺物

第4節　川辺町

川辺町は薩摩半島の中央部に位置し，北は鹿児島市，東は知覧町，南は枕崎市，西は加世田市・金峰町に接している。その地形は，南北に延びる薩南山地とその山脚に沿った台地および台地より一段低い沖積層の盆地である。特に町の中央部を流れる万之瀬川の支流広瀬川流域には広大な沖積地が広がり南薩有数の穀倉地帯となっている。

これまでに143ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって13ケ所の遺跡が新たに追加された。

第5表　川辺町遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	山神迫	神殿山神迫	台地	古墳	成川式土器	27－144
2	大丸	神殿大丸	台地	古墳	成川式土器	27－145
3	上五反田	神殿上五反田	台地	古墳	成川式土器	27－146
4	市崎原	清水市崎原	台地	古墳・古代	成川式土器 土師器	27－147
5	市崎野	清水市崎野	台地	縄文・古墳	成川式土器 縄文式土器	27－148
6	西ノ平後	清水西ノ平後	台地	古墳	成川式土器	27－149
7	横堀	神殿横堀	台地	古墳	成川式土器	27－150
8	中之平	清水中之平	台地	古墳	成川式土器	27－151
9	中須	神殿中須	台地	古墳	成川式土器	27－152
10	内青折	清水内青折	台地	古墳	成川式土器	27－153
11	石川路平	清水石川路平	南面するゆるやかな傾斜	縄文	押型文土器・前平式土器・石鏃	27－154
12	堀内	野崎堀内	台地	縄文・古墳・中世	縄文式土器・成川式土器・土師器	27－155
13	仮集	清水仮集	山すそ	縄文・古墳・古代	縄文式土器 成川式土器 須恵器	27－156

1　山神迫（やまがみざこ）遺跡（第20図・図版4－1）

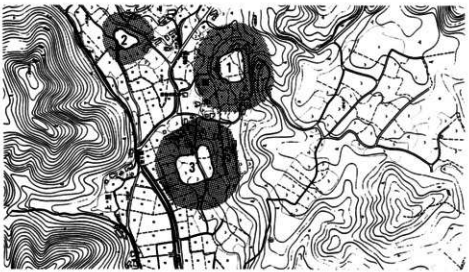
軸屋集落の東端にあたり，神殿川を見下ろすと標高約160mの台地先端部で，現況は畑地と墓地である。成川式土器片を数点採集した。

2　大丸（おおまる）遺跡（第20図・図版4－1）

神殿川をはさんで山神迫遺跡の対岸，標高約145mの台地に位置し，現況は畑地である。北側背後には標高300m級の山々が連なる。山神迫遺跡と同様に成川式土器片と思われる小片を数点採集した。

3　上五反田（かみごたんだ）遺跡（第20図・図版４－１）

神殿川の左岸，山神迫遺跡から南へ約200m,軸屋集落の南端の標高約140mの台地に位置し，現況は畑地である。山神迫遺跡・大丸遺跡と同様に成川式土器片を数点採集した。



第20図　１－山神迫遺跡　２－大丸遺跡　３－上五反田遺跡

4　市崎原（いちさきばる）遺跡（第21図・図版４－１）

市崎野台地の南側の標高約150mの畑地に位置し，南には今回の調査で発見した内青折遺跡が谷を隔てて望める。台地南端という良好な地形にもかかわらず，採集できた遺物は１枚の畑にて成川式土器と思われる小片が２点あった。表土が厚いためであろうか。

5　市崎野（いちさきの）遺跡（第21図・図版４－１）

市崎野台地の東端，市崎野集落に接する標高約150mの畑地に位置し，市崎原遺跡とは直線距離で約200mである。沈線を一条施した縄文式土器および成川式土器と思われる小片をそれぞれ１個ずつ採集した。

6　西ノ平後（にしのひらうしろ）遺跡（第21図・図版４－１）

市崎原遺跡・市崎野遺跡と同じ市崎野台地の北端，標高約150mの畑地に位置し，北側背後には中世の山城である市崎野小城跡が所在する。土師器の小片１点および成川式土器の小片を数点採集した。

7　横堀（よこぼり）遺跡（第22図・図版４－１）

清水川と神殿川の間にある鳴野原台地の中央部，標高約120mの畑地に位置する。成川式土器片を数点採集した。なお，分布範囲は狭く畑一枚程度である。

8　中之平（なかのひら）遺跡（第23図・図版４－１）

鳴野原台地の北東端，内青折集落に至る町道沿いの両側の標高約140mの畑地に位置する。成川式土器と思われる小片を数点採集した。なお，分布範囲は道路をはさむ畑地２・３枚程度である。

第21図　４－市崎原遺跡　５－市野崎遺跡　６－西ノ平後遺跡

9　中須（なかす）遺跡（第22図・第42図・図版４－２）

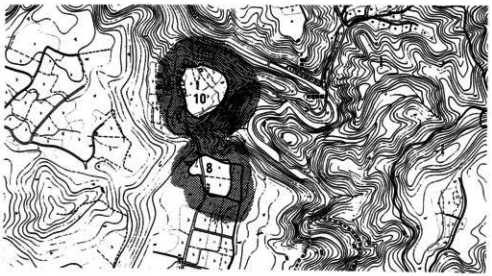
横堀・中ノ平遺跡が所在する鳴野原台地に同じく位置し，標高は約140mの畑地で，横堀遺跡までの直線距離は200mほどである。29は成川式土器の胴部片で貼付け突帯に刻みを施すものである。他に成川式土器と思われる小片を採集した。

なお，良好な台地にもかかわらず横堀・中ノ平・中須遺跡において数点の遺物しか採集されなかったことは，厚い表土下に良好な状態で遺物が保存されているとも考えられる。

第22図　７－横堀遺跡　９－中須遺跡

10　内青折（うちあおり）遺跡（第23図・図版４－２）

市崎野台地と鳴野原台地にはさまれた，標高約150mの独立した台地である。現況は宅地とそれに続く菜園である。遺物は成川式土器と思われる小片を数点台地の南東側斜面にて採集した。



第23図　8－中ノ平遺跡　10－内青折遺跡

11　石川路平（いしかわじびら）遺跡（第24図・第42図・図版４－２）

仁之野下集落の南側，国道225線沿いに位置する標高約170m～180mの南面するゆるやかな傾斜地である。現況は畑地および造成された宅地である。赤ホヤまでは，削平されているが，縄文時代早期の包含層が断面にて明瞭に観察できる。29･30は前平式土器の胴部，31は角筒を呈する前平式土器の口縁部，36は頁岩製の石鏃である。遺物散布の範囲は広く，東西200m,南北300mにおよぶ。

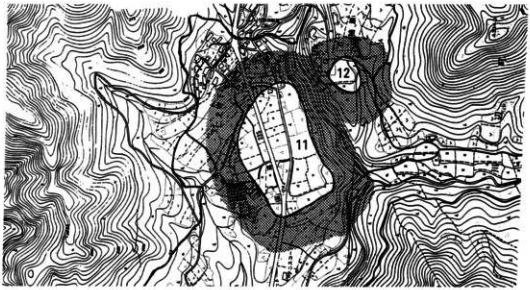
12　堀内（ほりうち）遺跡（第24図・図版４－２）

標高約300m級の山々から野崎川へ突き出した山脚の台地南端に位置し，標高は約170mである。南へ約200mの所には縄文時代の遺跡である八瀬尾遺跡が所在する。土師器の皿の体部，成川式土器の小片および胎土等から縄文式土器と考えられる土器片を採集した。

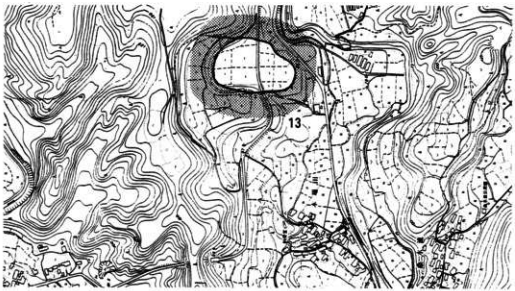
13　仮集（かりあつまり）遺跡（第25図・第42図・図版４－３）

標高約80m～90mの山裾，崖仏へ至る町道の両脇の畑地に位置する。胎土等から縄文式土器と思われる小片，成川式土器および須恵器片を採集した。小字名としては，町道より西側が仮集，東側が下夕集である。

なお，本遺跡から南西数百メートルの所に周知の遺跡27－20が所在するということであったが，その位置がはっきりしていなかったので今回の調査で再度確認し，遺跡地図上に新たにその場所を記載した。



第24図　11－石川路平遺跡　12－堀ノ内遺跡



第25図　13－仮集遺跡

図版 4 － 1

1　山神迫遺跡

2　大丸遺跡

3　上五反田遺跡

4　市崎原遺跡

5　市野崎遺跡

6　西ノ平後遺跡

7　横堀遺跡

8　中ノ平遺跡

図版４－２

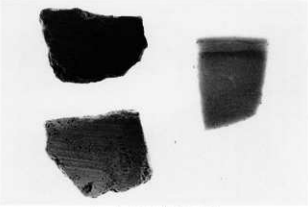
9　中須遺跡

10　内青折遺跡

11　石川路平遺跡

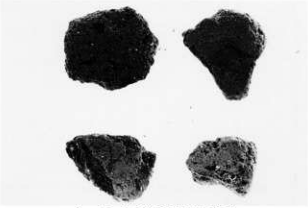
12　堀ノ内遺跡

1　山神迫遺跡出土遺物



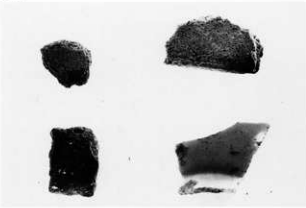
2　大丸遺跡出土遺物

3　上五反田遺跡出土遺物



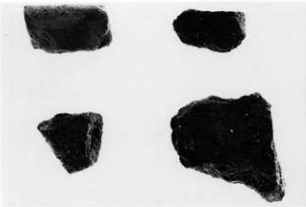
6　西ノ平後遺跡出土遺物

図版 4 － 3



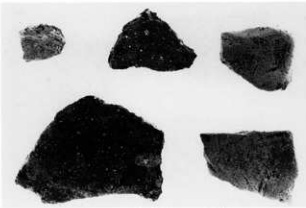
7　横堀・8　中ノ平・9　中須遺跡出土遺物

9　中須遺跡出土遺物

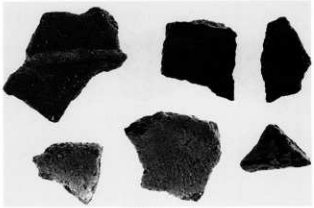


10　内青折遺跡出土遺物

11　石川路平遺跡出土遺物



12　堀ノ内遺跡出土遺物



13　仮集遺跡出土遺物

第5節　加世田市

加世田市は薩摩半島の南西部に位置し，北東は金峰町，東は川辺町，南は枕崎市と坊津町，西は大浦町とそれぞれ接し，北西部は東シナ海に面している。加世田市の地形は，南半部を占める山地，武田地区・川畑地区・内山田地区などの火砕流台地，万之瀬川流域の沖積平野及び日本三大砂丘の一つ吹上浜砂丘の一部である小湊砂丘に大別できる。

これまでに60ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって3ケ所の遺跡が新たに追加された。

第6表　加世田市遺跡地名表

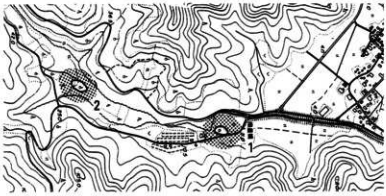
番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	小森東	相星小森東	斜面	縄文 古墳	黒曜石 土器片	4－61
2	野仁田西	相星野仁田西	山すそ	縄文 古墳・中世	縄文式土器・成川式土器・土師器・青磁	4－62
3	荒田堀	小湊荒田堀	砂丘	古墳	成川式土器 土錘	4－63

1　小森東（こもりひがし）遺跡（第26図・図版5）

相星川上流付近の西へゆるやかに傾斜する標高約8mの畑地に位置する。北側へは相星川により形成された沖積平野がひらけていく。黒曜石の剥片及び土器片を採集した。

2　野仁田西（のにたにし）遺跡（第26図・図版5）

相星川の急崖の岩陰に営まれていた隠れ念仏へ至る小道沿いの標高約200mの畑地に位置する。周辺の現況は，杉林および果樹園である。縄文式土器，成川式土器，土師器および染付等の小片を採集した。

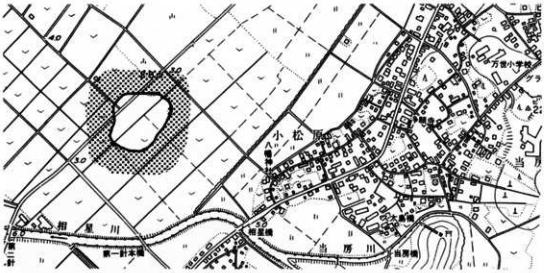


第26図　1－小森東遺跡　2－野仁田西遺跡

3　荒田堀（あらたぼり）遺跡（第27図・図版5）

東シナ海に面した広大な吹上浜砂丘の標高約3mの畑地に位置する。成川式土器，土師器，土錘

等を採集した。なお，この一帯は昭和初期に簡単な耕地整理が行われているが，平成７年に再度耕地整理が行われることから，加世田市教育委員会が調査主体となり確認調査の計画あり。



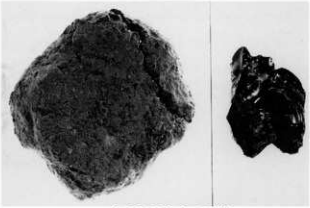
第27図　３－荒田堀遺跡

図版５

１　小森東遺跡

２　野仁田西遺跡

３　荒田堀遺跡



１　小森東遺跡出土遺物

第6節　金峰町

金峰町は薩摩半島のほぼ中央部，北は吹上町，東は鹿児島市，南は川辺町と加世田市に接している。西側は東シナ海に面しており，海岸部には日本三大砂丘の一つ吹上砂丘が形成され，白砂青松のみごとな景観が広がっている。また，東側には金峰山山系が縦走しており，主峰金峰山（636.3m）山麓から田布施平野にかけては舌状に台地が延び，金峰山に源を発する堀川，境川，長谷川などの河川が加世田市との境を流れる万之瀬川に合流し東シナ海へと注いでいる。

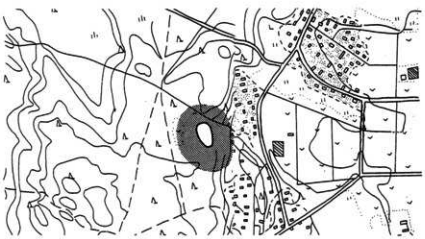
これまでに64ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって3ケ所の遺跡が新たに追加された。

第7表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	砂漠	池辺砂漠	砂丘	古墳	成川式土器	35－65
2	上ノ山後	高橋上ノ山後	砂丘	弥生～中世	弥生式土器・成川式土器・須恵器・土師器・青磁・白磁	35－66
3	浜潟	高橋浜潟	砂丘	古墳・古代	成川式土器・土師器	35－67

1　砂漠（さばく）遺跡（第28図・図版6－1）

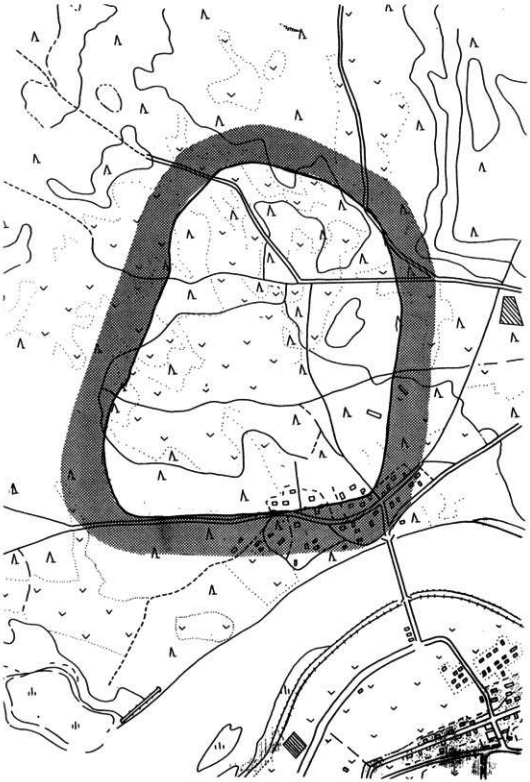
竹原集落西側の砂丘地，標高約25mのうっそうと生い茂った松林に取り囲まれた畑地である。成川式土器と思われる小片を数点採集した。



第28図　1－砂漠遺跡

2　上ノ山後（かみのやまうしろ）遺跡（第29図・第42図・図版6－1）

南薩少年自然の家の北側に広がる標高約10mの砂丘の畑地で，その散布範囲は広く上ノ山集落を含む数ヘクタールに及ぶ。採集された遺物も縄文時代，弥生時代，古墳時代，古代，中世とその時代幅も広い。

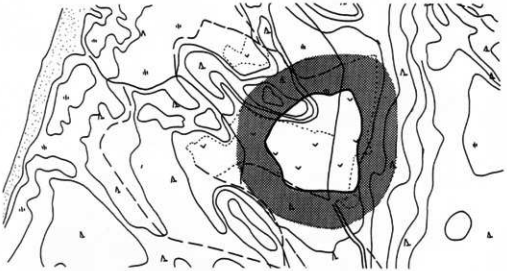


第29図　2－上ノ山後遺跡

3　浜潟（はまがた）遺跡（第30図・図版6－1）

上ノ山遺跡から北へ数百メートルの砂丘，標高約15mの畑地で上ノ山遺跡と同様の散布状況でその範囲も広い。遺物は成川式土器片および土師器を採集した。なお，断面で観察したところ，遺物

は表層と白砂層の間にあり，包含層の有無については疑問が残る。



第30図　3－浜渕遺跡

図版6－1

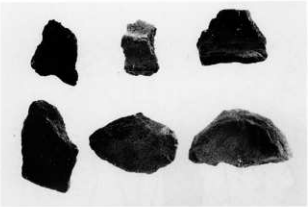
1　砂漠遺跡

2　上ノ山後遺跡

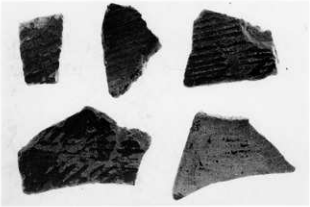
3　浜渕遺跡

1　砂漠遺跡出土遺物

図版６－２

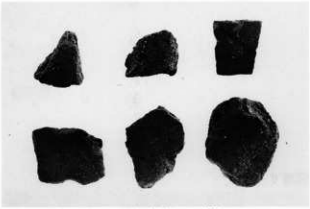


２　上ノ山後遺跡出土遺物（土器）



２　上ノ山後遺跡出土遺物（須恵器）

２　上ノ山後遺跡出土遺物（陶磁器）



３　浜渕遺跡出土遺物

第7節　吹上町

吹上町は，薩摩半島の西部に位置し，北は松元町・日吉町，東は鹿児島市，南は金峰町に接し，西側は東シナ海に面し，海岸部には日本三大砂丘の一つ吹上砂丘が形成され，白砂青松のみごとな景観が広がっている。町の大半を占める東側の山地は金峰山山系で，それから西へ向かって次第に低くなり，その山脚にそって台地が広がり，さらに低くなって海岸平野および砂丘地となる。

これまでに99ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって9ケ所の遺跡が新たに追加された。

第8表　吹上町遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	小牟田平	今田小牟田平	台地	古墳・古代	成川式土器 土師器	34－100
2	窪園ノ上	今田窪園ノ上	台地	古墳・古代	成川式土器 須恵器	34－101
3	枦ケ峯	中原枦ケ峯	台地	古墳・古代	成川式土器 土師器・磨石	34－102
4	田所園	中原田所園	台地	古墳～中世	成川式土器・土師器・青磁	34－103
5	有園	中原有園	台地	古墳・中世	成川式土器 青磁	34－104
6	正円西	中原正円西	台地	古墳～古代	成川式土器 青磁	34－105
7	土付	中原土付	台地	古墳	成川式土器	34－106
8	山迫	入来山迫	砂丘	古墳	成川式土器	34－107
9	小烏堀	小野小烏堀	砂丘	古墳	成川式土器	34－108

1　小牟田平（こむたびら）遺跡（第31図・図版7－1）

西側は砂丘地，東側は今田地区の水田にはさまれた標高約20mの台地南端の畑地に位置し，東側は今田集落へと続く。成川式土器片数点と土師器の皿の底部を採集した。

2　窪園ノ上（くぼぞんのうえ）遺跡（第31図・図版7－1）

小牟田平遺跡と同一の台地で，中央を東西に横切る町道の南側が小牟田平遺跡で北側が窪園ノ上遺跡である。成川式土器片数点と須恵器片を採集した。

第31図　1－小牟田平遺跡　2－窪園ノ上遺跡

3　枦ケ峯（はぜがみね）遺跡（第32図・第42図・図版７－１）

さつま湖の南，枦ケ峯遺跡の所在するつつじケ丘南側の山すそ部にあたる。標高約30mの東西に長い台地のほぼ全域に遺物の散布が見られ，その範囲は広い。成川式土器片，須恵器の蓋，土師器等を採集した。なお，平成５年に確認調査が行われた皮屋堀遺跡もこの範囲内に含まれるものである。

4　田所園（たどころえん）遺跡（第32図・図版７－１）

さつま湖西側の台地の北東端の標高約40m,国道270号線沿いの畑地である。成川式土器片，土師器の皿の底部および青磁片等を採集した。

5　有園（ありぞの）遺跡（第32図・図版７－１）

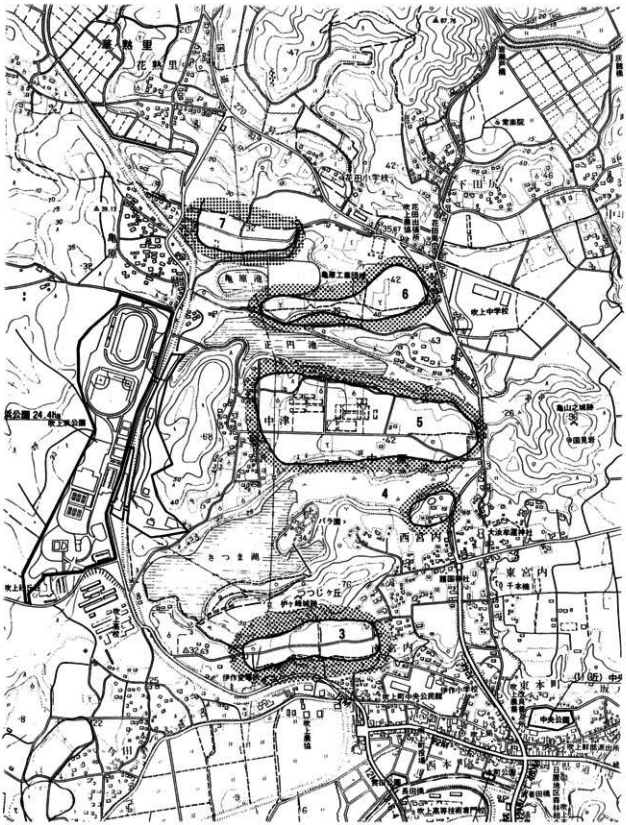
正円池とさつま湖の間にはさまれた標高約40mの台地のほぼ全域に遺物の散布が見られ，その範囲は広い。成川式土器片および青磁片を採集した。なお，小字としては，有園の他に外戸，梨木，亀甲，数塚，榎堀，向園などが含まれる。

6　正円西（しょうえんにし）遺跡（第32図・図版７－１）

辻堂原遺跡が所在する台地の西端，亀原池と正円池の間の標高約35mの畑地である。成川式土器片および青磁片を採集した。小字としては，正円西の他に正円迫が含まれる。

7　土付（どつき）遺跡（第32図・図版７－１）

亀原池の北側，花熟里遺跡の所在する台地の南端部の標高約30mの畑地である。成川式土器と思われる小片を数点採集した。なお，遺跡の範囲はサンオーシャンリゾート地区外である北側へものびるものである。



第32図　3－枦ケ峯遺跡　4－田所園遺跡　5－有園遺跡　6－正円西遺跡　7－土付遺跡

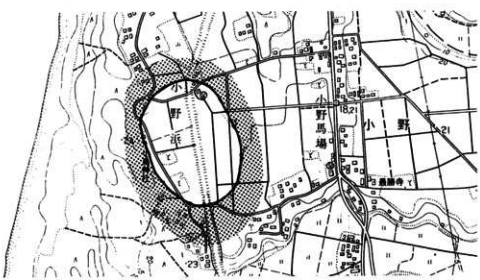
8　山迫（やまさこ）遺跡（第33図・図版７－１）

入来浜集落の北側，入来浜漁港を望む標高約15mの砂丘地で，若宮神社の境内である。以前，社の改築工事時に遺物が発見されたとの情報を得たので周辺の調査を行ったところ，成川式土器片を採集することができた。なお，出土した遺物は元の場所にまた埋め戻したとのことである。

9　小鳥堀（こがらすぼり）遺跡（第34図・図版７－２）

小鳥神社境内の砂丘地およびその東側に広がる標高約20mの畑地である。成川式土器片を採集したが，昭和40年代に耕地整理が行われており，包含層については疑問が残る。なお，遺跡の範囲はサンオーシャンリゾート地区外である東側へものびるものである。

第33図　8－山迫遺跡



第34図　9－小鳥堀遺跡

図版７－１

1　小牟田平遺跡

2　窪園ノ上遺跡

3　栁ケ峯遺跡

4　田所園遺跡

5　有園遺跡

6　正円西遺跡

7　土付遺跡

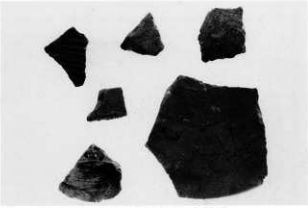
8　山迫遺跡

図版７－２

9　小烏堀遺跡

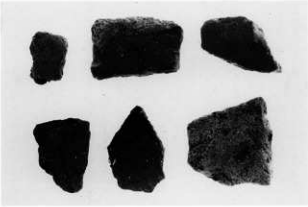
1　小牟田平遺跡

2　窪園ノ上遺跡出土遺物

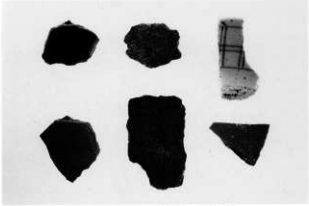


3　枦ケ峯遺跡出土遺物

4　田所園遺跡出土遺物



5　有園遺跡出土遺物



6　正円西遺跡出土遺物

7　土付遺跡出土遺物

第8節　大浦町

大浦町は薩摩半島の南西から北西に突出した野間半島の付け根にあり，東は加世田市，西は笠沙町，南は坊津町に接し，北は大浦潟干拓地で東シナ海に面している。また，その地勢は，東は長屋山山脈，西は入谷・亀ケ丘連山，南は磯間岳を主峰とする連山に三方を囲まれ，これらの山々の山脚に台地が形成され，干拓地が広がる大浦川の沖積地へと南から北へ傾斜している。

これまでに39ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって10ケ所の遺跡が新たに追加された。

第9表　大浦町遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	遺物等	遺跡番号
1	瀬戸上	大浦瀬戸上	独立丘陵	中世	青磁・染付	23－40
2	新山	大浦新山	ゆるやかな傾斜面	縄文・古墳 中世	黒曜石・成川式土器・染付	23－41
3	星太郎上	大浦星太郎上	傾斜面	古墳	成川式土器	23－42
4	上城	大浦上城	台地	縄文 古墳	縄文式土器 成川式土器	23－43
5	ソガノ	大浦ソガノ	ゆるやかな傾斜面	縄文・古墳・中世	縄文式土器・成川式土器・染付・青磁	23－44
6	木戸畑	大浦木戸畑	〃	縄文・古墳	縄文式土器・チャート・成川式土器	23－45
7	野下園	大浦野下園	台地	古墳	成川式土器 フイゴ羽口	23－46
8	植木原	大浦植木原	〃	古墳	成川式土器	23－47
9	下小字都	大浦下小字都	山すそ	古墳	成川式土器	23－48
10	外園東	大浦外園東	台地	縄文・古墳	黒曜石 成川式土器	23－49

1　瀬戸上（せとうえ）遺跡（第35図・図版８－１）

大浦川左岸の潟に突き出した独立丘陵で，山頂部の標高は約20mである。遺物は，山頂部の平坦地を中心に青磁，染付等の中世の遺物が採集された。

2　新山（しんやま）遺跡（第35図・図版８－１）

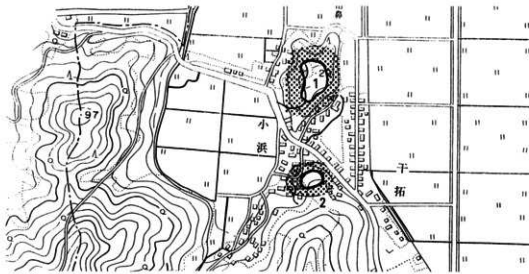
南西部の山々の北端部の山すそのゆるやかな傾斜地で，標高が約15mである。黒曜石の剥片，成川式土器片，染付などを採集した。ただし，表土も薄く溶結凝灰岩も露出していることから包含層については疑問が残る。

3　星太郎上（ほしたろううえ）遺跡（第36図・図版８－１）

南西部の山々の東端部の山すそのゆるやかな傾斜地で，標高が約50mで，眼下には干拓地と大浦町の市街地が一望できる。成川式土器片を採集したが，新山遺跡同様に包含層については疑問が残る。

4　上城（うえじょう）遺跡（第36図・図版８－１）

大浦小学校の南側，南から北へ細長く突き出した台地の先端部で，標高約20mの畑地である。成川式土器片数点と縄文式土器と思われる小片を１点採取した。



第35図　１－瀬戸上遺跡　２－新山遺跡

第36図　３－堅太郎上遺跡　４－上城遺跡

5　ソガノ（そがの）遺跡（第37図・第42図・図版８－２）

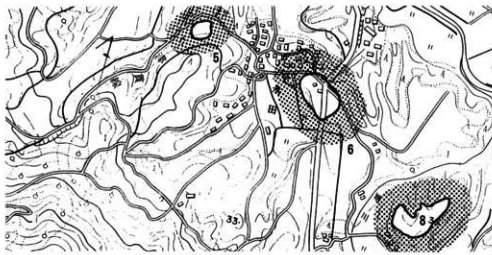
県道秋目・上津貫線と永田の集落にはさまれたゆるやかな傾斜地，標高約35mの畑地である。胎土・焼成等から縄文式土器と思われる破片，成川式土器片，青磁，染付等を採集した。

6　木戸畑（きどばた）遺跡（第37図・図版８－２）

県道久志・大浦線の永田集落付近のゆるやかな傾斜地，標高約20mの畑地である。胎土・焼成等から縄文式土器と思われる破片，チャート，成川式土器等を採集した。

7　野下園（のしたぞの）遺跡（第38図・図版８－２）

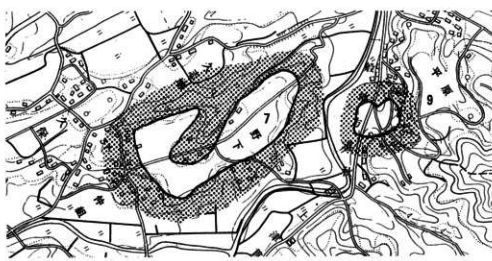
野下地区から仲組地区の北側まで広がる台地，標高約20mの畑地である。フイゴの羽口（時期不明）や成川式土器片を採集した。なお，その散布範囲は広く，台地全面におよぶ。



第37図　５－ソガノ遺跡　６－木戸畑遺跡　８－植木原遺跡

8　植木原（うえきばる）遺跡（第37図・図版８－２）

大浦川とのその支流の塘川にはさまれた独立した台地で，標高約30mの畑地である。頂部の平坦地にて成川式土器片を採取した。



第38図　７－野下園遺跡　９－下小字都遺跡

9　下小字都遺跡（しもこうと）遺跡（第38図・図版８－２）

東側の山地が大浦川へ向かって傾斜する山脚で，県道秋目・上津貫線沿いの標高約15mの畑地である。成川式土器と思われる小片を数点採集した。

10　外園東（ほかぞのひがし）遺跡（第39図・図版８－２）

東側の山地が大浦川の源流部へ向かって傾斜する山脚の台地で，大木場集落とその周辺の標高約25mの畑地である。黒曜石の剥片，胎土焼成等から縄文式土器と思われる小片および成川式土器を採集した。

第39図　10－外園東遺跡

図版８－１

1　瀬戸上遺跡

2　新山遺跡

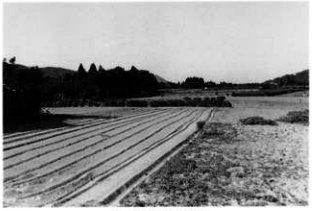
3　星太郎上遺跡

4　上城遺跡

図版８－２

5　ソガノ遺跡

6　木戸畑遺跡

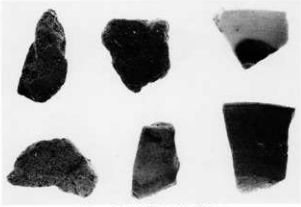


7　野下園遺跡

8　植木原遺跡

9　下小宇都遺跡

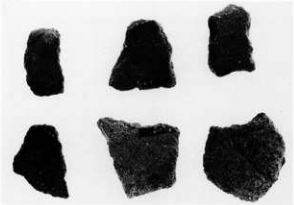
10　外園東遺跡



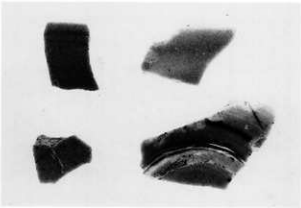
2　新山遺跡出土遺物

3　星太郎上遺跡出土遺物

図版 8 － 3

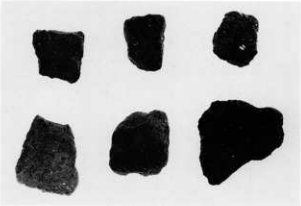


4　上城遺跡出土遺物



5　ソガノ遺跡出土遺物（陶器）

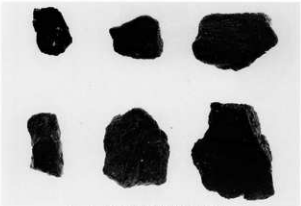
5　ソガノ遺跡出土遺物（土器）



6　木戸畑遺跡出土遺物

7　野下圃遺跡出土遺物

8　植木原遺跡出土遺物



9　下小字都遺跡出土遺物

10　外園東遺跡出土遺物

第9節　笠沙町

笠沙町は薩摩半島の南西から北西に突出した野間半島の大部分を占め，東は大浦町，南は坊津町に接し，北および南は東シナ海に面している。その地勢は，中央部より西寄りの野間岳，東よりの西の丘とこれを取り巻く大小の丘陵が町の大部分であり平野部は河川流域にわずかに認められる程度であり，河口部に見られる低地は古くから行われてきた干拓によるものである。

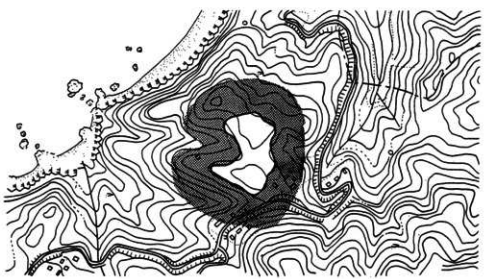
これまでに32ケ所の遺跡が知られていたが，今回の調査によって2ケ所の遺跡が新たに追加された。

第10表　笠沙町遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地名	時代	遺物等	遺跡番号
1	福戸山鼻	片浦福戸山	山頂	縄文・古代	縄文式土器 内黒土師器	24－33
2	枦木畠	赤生木枦木畠	台地	古墳	成川式土器	24－34

1　福戸山鼻（ふくとやまばな）遺跡（第40図・第42図・図版9）

野間池から黒瀬に至る県道の南側にある丘陵の標高約153mの山頂部からその北側の斜面にかけての畑地である。沈線と突帯を施した縄文式土器と内黒土師器の破片を採集した。

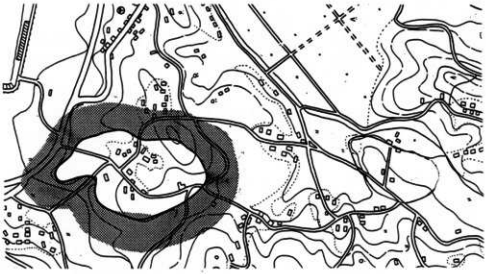


第40図　1－福戸山鼻遺跡

2　枦木畠（はぜきばた）遺跡（第41図・図版9）

西の丘などの南部山地の北東部の山すそに開けた台地で，標高約20m畑地および住宅地である。小破片ではあるが，成川式土器片を多数採集した。散布の範囲は広く，他に下大迫，小迫，迫畠，市嵜畠，尾ノ上，右石切場ノ上，十折ケ迫，高鼻，松嵜尾，石切場などの小字の地域を含む。

また，以前県道改良工事に伴って発掘調査が実施された西ノ園遺跡は本遺跡の北側に隣接している。

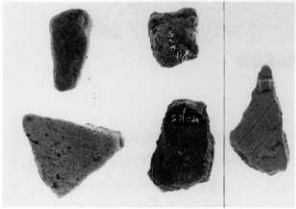


第41図　2－枦木島遺跡

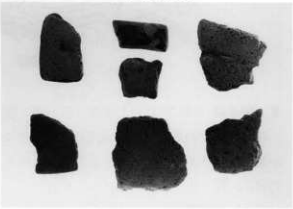
図版 9

1　福戸山鼻遺跡

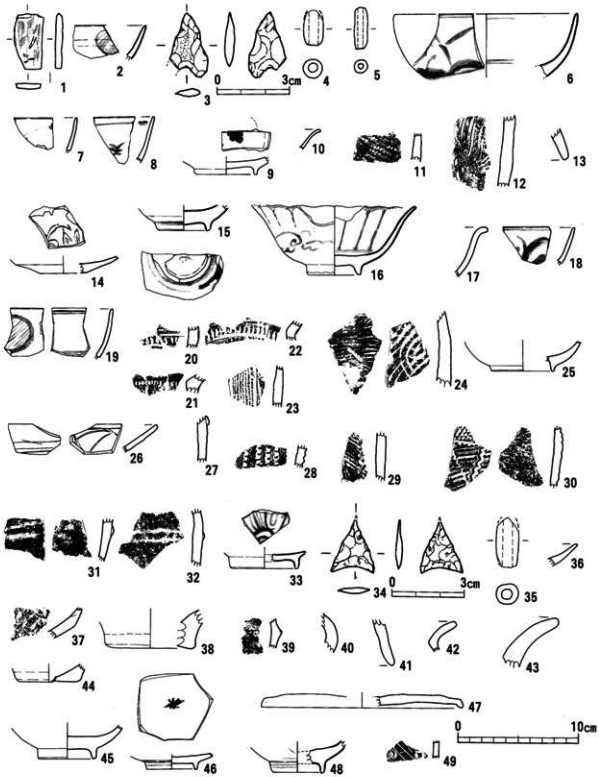
2　枦木島遺跡



1　福戸山鼻遺跡出土遺物



2　枦木島遺跡出土遺物



第42図　採集遺物実測図

1－枕崎市・迫前遺跡　2－枕崎市・下之原遺跡　3－坊津町・鳥越遺跡　4・5－坊津町・田崎遺跡
6・8－知覧町・若宮遺跡　7・10－知覧町・馬庭遺跡　9－知覧町・奥山遺跡
11・12－知覧町・丸野A遺跡　13－知覧町・古園遺跡　14・15・16－知覧町・山下遺跡
17・18・19－知覧町・御園A遺跡　20・21・22・23－知覧町・横井遺跡　24・25－知覧町・須田ノ木遺跡
26－知覧町・白川遺跡　27－川辺町・中須遺跡　28・29・30・34－川辺町・石川路平遺跡
31・32・33－川辺町・仮集遺跡　37・38・39・40・41・42・43・44・45・46－金峰町・上ノ山後遺跡
47－吹上町・枦ケ峯遺跡　48－大浦町・ソガノ遺跡　49－笠沙町・福戸山鼻遺跡

鹿児島県埋蔵文化財調査報告書(70)

鹿児島サン・オーシャン・リゾート地域

埋蔵文化財分布調査報告書（Ⅲ）

平成７年３月

発行者　鹿児島県教育委員会
〒892　鹿児島市山下町14－50
印刷所　㈱光陽社
〒890　鹿児島市新栄町23－38